

第40回清榮祭 バンド 規定

第40代 清榮祭実行委員会 ステージ統括部署

第40回清榮祭の有志舞台においてバンド出演を希望する者は、以下の内容を熟読し、遵守すること。

本規定は、現時点での運営方針に基づき作成しているため、
時間・出演団体数等により内容を変更する場合がある。

1.参加するにあたって

- 中学3年生及び高校生の参加を認める。
- 団体名及び公演内容について、公序良俗に反するもの、または清榮祭実行委員会及び担当教員が不適切と判断したものは認めない。
⇒団体名のオマージュに関して、法律に反しかねないと判断されたものに関しては変更を命じることがある。
- 1人につきバンド・ダンス・劇のうち合計2団体まで出場を認める。（なお、ステージ部署統括の特技披露等の有志舞台については、団体数制限の対象外とする。）
- 同一人物による複数バンドへの出演（バンド内掛け持ち）は認めない。
- 出演希望団体数が実施可能数を超えた場合は、抽選により出演団体数の調整を行う。詳細は「出演日及び出演団体数・抽選について」を参照すること。
- 出場団体のメンバーは、事前に告知されるリハーサル・本番の日時を把握及び担当文実へ報告し、清榮祭実行委員会による点呼時刻までに集合しなければならない。
- 参加を希望する団体には1団体につき、ステージ統括部署の清榮祭実行委員から、「担当文実」を設ける。
- 担当文実の業務は以下記載のものとする。
 - 顧問する担当団体の撮影・リハーサル・本番時の監督
 - 練習中・公演中の体調不良時の救護
 - 顧問する担当団体の撮影動画の確認
 - 化粧・衣装の確認
- 担当文実が何らかの理由でリハーサル等、業務ができない場合、当該の有志団体の担当文実の業務はステージ統括部署担当教員が行う。
- 出場団体の代表者のみならず、メンバー全員が本規定の内容を理解していなければならない。

2.注意事項

- ひな壇及びレンタル機材を破損する恐れのあるアクロバティックな動き、及び危険性の高いパフォーマンスは禁止する。
- リハーサルにおいて、公演内容に危険な動きが含まれていないかを確認する。

- 出場団体は、公演内容を事前に実行委員会へ申告しなければならない。
- 観客参加型の演出を行う場合は、その内容を事前に清榮祭実行委員会へ申告すること。
- 事前に観客の演出協力を予定している場合は、その内容を清榮祭実行委員会へ共有すること。
- 当日の衣装については、「PDF 第40回清榮祭 服飾規定.pdf」を必ず参照し、各自で購入又は作成を行うこと。なお、服飾規定を遵守している既存の衣服及び学校指定服装等を使用することも可能とする。
- 清榮祭実行委員、教員及び機材貸出業者から指示を受けた場合は、速やかに従うこと。
- 当日までに出席すべき打ち合わせ及び前日準備等について、無断欠席が確認された場合は、清榮祭実行委員会及び担当教員の判断により出場停止等の措置を取る場合がある。
- 当日使用する機材は専門業者からレンタルするため、機材レンタル代として、出演者1人あたり2000円を徴収する。この負担金は個人預り金から差し引くものとする。
- レンタル機材の故障又は破損について、業者が故意又は重大な過失によるものと判断した場合、当該団体又は個人に弁償を求める場合がある。
- 本規定に違反する行為、安全管理上問題がある行為及び運営に重大な支障をきたす行為が確認された場合、清榮祭実行委員会及び担当教員の判断により出場停止等の措置を取る場合がある。

3.練習について

- 校則を遵守して練習を行うこと。下校中の練習は一切認めない。
- リハーサル・撮影日及び必要時以外に楽器を持ち込むことは原則禁止とする。
- 夏季休業中を含め、深夜に及ぶ練習は禁止する。
- 学校備品の使用及び貸出は認めない。機材は原則として業者よりレンタルするものとする。
- 以下は第39回清榮祭における貸出機材実績であり、変更となる場合がある。
 - ・ドラム（TAMA24 フルセット）
 - ・ギターアンプ（Roland JC-120）
 - ・ギターアンプ（Marshall B150 85W）
 - ・ベースアンプ
 - ・電子ピアノ（YAMAHA P105）
 - ・ギタースタンド
 - ・マイク・マイクスタンド
 - ・シールド
 - ・譜面台

4.公演について

〈メンバー・コンテストについて〉

- 学年混合チームでの参加は認める。ただし、学年混合チーム又は生徒以外のメンバーを含む場合は、コンテストへの出場は認めず、有志出演のみとする。
- 中学3年生は有志出演のみ認める。

- 高校1・2年生は、有志・コンテストいずれへの参加も可能とする。

〈出演日及び出演団体数・抽選について〉

- 高校1年生は1日目、中学3年生及び高校2年生は2日目に公演を行う。
- 各日の出演可能団体数は、1日目11団体、2日目12団体を目安とする。
- 出演希望団体数が実施可能数を超えた場合は、本規定に定める優先順位に従い、抽選により調整を行う。
- 2日目については、高校2年生団体を優先して出演団体を決定、残りの出演枠について中学3年生団体の調整を行うものとする。

〈演奏について〉

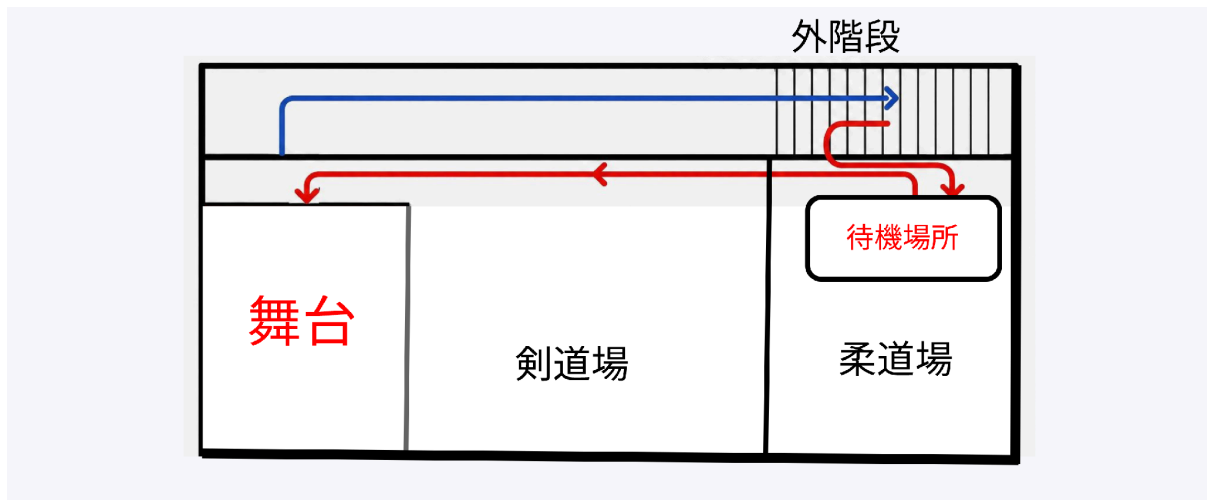
- 演奏時間は1団体あたり15分以内とする。また、団体の入れ替え及びPA調整等のため、各団体の終了後に6分間のインターバルを設ける。ただし、出場団体数等により変更する場合がある。
- 割り当てられた公演時間を超過し、他団体の運営に支障を及ぼすと判断された場合、清榮祭実行委員会の判断により演奏を終了する場合がある。
- 出演予定者は演奏開始予定時刻の15分前までに着替え等を済ませ、実行委員による点呼及び衣装・化粧確認を受けること。
- 出演予定者は演奏開始予定時刻の10分前までに指定位置に集合、演奏開始予定時刻までに準備が完了しない場合であっても、終了時刻の延長は認めない。
- 記念撮影、MC、観客参加演出その他演奏以外の活動については、団体の割当時間内に実施すること。これらは演奏時間に含まれるものとする。
- PA（音響）調整は、インターバル時間内に完了できるよう、事前リハーサルにおいて十分な確認・調整を行うこと。運営進行に支障を及ぼすと判断された場合、清榮祭実行委員会の判断により調整を終了する場合がある。

〈その他〉

- 撮影・リハーサルに遅刻する場合は、担当文実へ必ず連絡すること。
- 公演中及び控室での飲料は、機材保護及び管理上の理由から、蓋付きペットボトルの水のみとする。
- PA担当者及び他団体に対して礼節をもって接し、円滑な運営に協力すること。
- 他団体とのトラブル又は著しい迷惑行為が確認された場合、清榮祭実行委員会及び担当教員の判断により出場停止等の措置を取る場合がある。

5.当日のバンドメンバーの動き

当日の移動経路及び待機場所については、下図を参照すること。



演奏時間になった団体は、食堂側から裏駐車場を通り、武道場外側階段を利用して柔道場へ集合すること。

- 外誘導は有志団体案内に使用するため、待機場所は裏駐車場側外階段付近とする。
- 舞台は土足不可。待機にあたっては靴袋等を各自持参し、靴の管理及び取り違い防止を徹底すること。靴の紛失・取り違い等については各自の責任で管理すること。
- 事情により靴を脱ぐことが難しい場合は、外階段付近で待機すること。
- 舞台上は滑りやすくなっているため、学校指定の体育館シューズの持参を推奨する。

本規定は変更となる場合があるため、清榮祭実行委員会からの連絡を都度確認すること。

規定に関する質問等は、ステージ統括部署(2026seiei-stage@edu.nishiyamato.ed.jp)まで